

平成30年度 校内研究

心豊かに表現し、学びあう児童の育成

～「考えを深め」「認め合う」「話し合い活動の充実を通して」～

<目指す子ども像①>

自ら考え、表現する子ども

仮説
1

「一人学び」「書く」「伝え合う」活動を学習過程に意図的に位置づけることで、課題に対して見通しをもって取り組み、自信をもって表現する力が高まるだろう。

キーワード：自信をもって表現する力

<目指す子ども像②>

互いの考えを認め、学び合う子ども

仮説
2

一人一人の思いや考えを大切にする「話し合い活動」を学習過程に意図的に位置づけることで、互いの考えを認め合いながら話し合いを深めることができるだろう。

キーワード：深まる話し合い

～習得した技能を使って考えを深め、主体的に表現する学習活動の工夫改善～

視点
1

①森の里の約束（話し方・聞き方）の定着と活用

②「課題把握」「既習事項」「見通しをもつ」プロセスの工夫

③言葉、式、図などの「書く」活動の充実

～伝え合いを通して、考えを深める学び合いのための学習活動の工夫改善～

視点
2

①「話す」「聞く」「比べる」学び合いのプロセスの充実

②意見の共通点や相違点を整理する力の育成

③より良く伝えるための投影機やボード等の活用と学習形態（ペア・グループ）の工夫

<森の子学級>

児童一人ひとりに応じた生きる力を
はぐくむための指導のあり方

<里の子学級>

輝くひとみで主体的に活動する児童の育成
～一人一人の持ち味を大切にしたいかわりをもとめて～